



# MESSAGE NOTES

## 使命と賛美（礼拝）

マタイの福音書 28:19-20

ロイド・フラハティ

### 1. 使命

私たちの使命は、イエス様が福音を世界に伝えるよう私たちに命じられたとおり（マタイ 28:19-20）人々を愛し、人々が天の父とつながるように手助けをすることによって、人々を天の父へと導くことです。私たちは天の父を賛美（礼拝）し、御父の愛を世と分かち合うために造られました。

マタイの福音書 20-28:19

ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、20 わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。

### 2. 互いに教え合う

私たちは互いに励ましあい、教え合うように召されています。祝福や助けを受け取るのと同じように、私たちもそれらを周りの人々に渡していき、教会の中で互いに支え合うのです。

2 テモテへの手紙 2:2 多くの証人たちの前で私から聞いたことを、ほかの人にも教える力のある信頼できる人たちに委ねなさい。

### 3. あなたの手に何がある？

モーセが杖を使った時のように、神様はご自分の計画のために私たちが既に持っているものを用いられます。私たちは一人一人神様に賜物を与えられています。そして、神様に与えられた力で人々に仕えるために、その賜物を使うように召されているのです。（出エジプト記 4:2-4; 1 ペテロの手紙 4:10）

モーセは燃える柴のところで神様と語り、神様はモーセに「あなたが手に持っているものは何か。」と尋ねました。モーセは「杖です。」と答えました。すると神様は彼にそれを地に投げるように言われました。（出エジプト記 4:2-4）

1 ペテロの手紙 4:10 それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。

「私たちの使命は賛美（礼拝）につながるべきであり、賛美（礼拝）は使命につながるべきである」 — スティーブ・マレル